

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
高知市	春野町弘岡中・弘岡下地区 (弘岡中・弘岡下集落)	令和3年3月19日	—

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	297,60ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	162,02ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	87.42ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	52.27ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.26ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	17.44ha
(備考) 「貸したい」又は「売りたい」意向のある農地のうち、中間管理事業の活用も希望する面積の割合:45.11%	

注1:③の「70才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。

注2:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

注3:アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。

注4:プランには、話し合いに活用した地図を添付してください。

### 2 対象地区の課題

地権者及び農業者の高齢化に伴い、農業の担い手が減少していることから、耕作放棄地等の増加が予想される。また、区画整理されていない地域については、農業経営上非効率な状況となっている。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中心経営体の中でも、特に現新規就農者を中心として、今後農地の集約化を図る。

就農希望者の受け入れについても引き続き行い、地域の農業の担い手の増加・育成を図ることにより、農地の集約化につなげる。

新規就農者の経営・コスト感覚等の習得を目的として、就農開始後3年程度利用可能なハウスの設置を検討する。これにより、自分の収益力・資力に合ったハウスの設置や、堅実な農業経営につなげ、集積・集約を図る。

貸したい・売りたい農地・農業用ハウスの見える化を行い、貸借・売買のマッチングに至る手間の軽減及びマッチング率の向上を図ることにより、集積・集約に繋げる。具体的には、売り・貸しに関し詳細な情報まで含めた台帳の整理や、直接農地に売り・貸しの意向が分かる目印(杭や看板等)を設置することの検討を行う。

注1:中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2:「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	野菜, 水稻, 果樹	0.82 ha	野菜, 水稻, 果樹	0.82 ha	弘岡下集落
	B	野菜, 水稻	0.35 ha	野菜, 水稻	0.35 ha	弘岡中・弘岡下集落
到達	C	野菜, 水稻	2.28 ha	野菜, 水稻	2.28 ha	弘岡中・弘岡下集落
認農法	D	果樹	4.30 ha	果樹	4.30 ha	弘岡下集落
	E	野菜, 水稻	0.89 ha	野菜, 水稻	0.89 ha	弘岡中集落
到達	F	果樹, 水稻	0.90 ha	果樹, 水稻	0.90 ha	弘岡中集落
認農	G	野菜	0.29 ha	野菜	0.29 ha	弘岡中集落
	H	水稻	0.41 ha	水稻	0.41 ha	弘岡下集落
認農	I	野菜, 水稻	1.35 ha	野菜, 水稻	1.35 ha	弘岡下集落
認就	J	野菜, 水稻	0.22 ha	野菜, 水稻	0.22 ha	弘岡中・弘岡下集落
	K	野菜, 水稻	0.92 ha	野菜, 水稻	0.92 ha	弘岡中・弘岡下集落
認農	L	野菜, 水稻	1.10 ha	野菜, 水稻	0.55 ha	弘岡下集落
認農	M	野菜	0.50 ha	野菜	0.20 ha	弘岡下集落
認農	N	野菜	0.35 ha	野菜	0.35 ha	弘岡下集落
認農	O	野菜, 水稻, 果樹	2.74 ha	野菜, 水稻, 果樹	2.74 ha	弘岡中・弘岡下集落
認農	P	野菜, 水稻	1.32 ha	野菜, 水稻	1.32 ha	弘岡下集落
	Q	野菜, 水稻, 花き	1.10 ha	野菜, 水稻, 花き	1.10 ha	弘岡下集落
認農	R	野菜	0.50 ha	野菜	0.90 ha	弘岡中・弘岡下集落
	S	野菜, 水稻	3.57 ha	野菜, 水稻	21.00 ha	弘岡中・弘岡下集落
	T	野菜	0.22 ha	野菜	0.22 ha	弘岡中・弘岡下集落
	U	野菜	0.20 ha	野菜	0.20 ha	弘岡中・弘岡下集落
認就	V	野菜	0.12 ha	野菜	0.12 ha	弘岡中・弘岡下集落
認農	W	野菜, 果樹	0.33 ha	野菜, 果樹	0.33 ha	弘岡下集落
	X	野菜, 水稻, 果樹	0.79 ha	野菜, 水稻, 果樹	0.79 ha	弘岡中・弘岡下集落
認就	Y	野菜	0.50 ha	野菜	0.70 ha	弘岡下集落
認就	Z	野菜	0.19 ha	野菜	0.26 ha	弘岡下集落
認農法	AA	野菜	0.34 ha	野菜	0.34 ha	弘岡中集落
認農	AB	野菜	0.20 ha	野菜	0.20 ha	弘岡下集落
認就	AC	野菜	0.23 ha	野菜	0.52 ha	弘岡下集落
認就	AD	野菜	0.10 ha	野菜	0.30 ha	弘岡下集落
	AE	水稻	1.20 ha	水稻	0.90 ha	弘岡中・弘岡下集落
	AF	水稻	0.50 ha	水稻	0.50 ha	弘岡下集落
認農法	AG	野菜, 水稻	0.30 ha	野菜, 水稻	0.30 ha	弘岡下集落
計	33人		29.13 ha		46.57 ha	

注1:「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。

注2:「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3:「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

山間の地域では猪による被害が発生していることから、引き続き駆除体制の構築に取り組む。
新規就農者を受け入れるにあたり、当該地区の近辺には賃貸住宅が少ないため、空き家の利活用について検討を行う。
現在行われている研修を拡充し、指導者に言われて「分かった」というレベルまでではなく、その先の「自らできる」というレベルまで発展させる研修システムを導入し、農業経営力の向上を図り、地域に根付く農業者を増やすことを検討する。
圃場整備の必要性を地域として考えるとともに、関係機関と連携し検討を行う。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

	農地の所在(地番)	貸付け等の区分(㎡)		
		貸付け	作業委託	売渡
1				
2				
3				
4				
5				
6				
	計			

注: 農業委員・農地利用最適化推進委員が農地の貸付け等の意向を確認した面積を農地利用最適化交付金の成果実績払いの対象とする場合には、人・農地プランにおいて地番、面積を記載することが必要です。

(留意事項)

本様式をそのまま公表様式として活用する場合には、中心経営体の氏名等特定の個人が識別される情報が含まれることから、本人の同意を得る等個人情報保護条例等に抵触しないよう留意してください。

なお、本人の同意が得られない場合には、その方の氏名を伏せるなど、個人が識別されないよう留意してください。